

渋皮剥皮性に優れるニホングリ新品種「ぼろたん」の特性

【要約】「ぼろたん」は、渋皮剥皮性がチュウゴクグリ並に優れるニホングリ新品種で、果実が大きく、肉質がやや粉質で甘みがやや多く食味は良好である。収穫期は、「丹沢」と「筑波」の中間で「国見」の代替品種として有望である。

中山間農業研究所・中津川支所・神尾真司

【連絡先】電話番号0573-68-2036

【背景・ねらい】

県内クリ産地では、特産品「栗きんとん」への加工に適した8月下旬から収穫できる極早生品種並びに「国見」に代わる良食味品種の育成が切望されている。このため、当支所では交雑育種により新品種の育成を進めるとともに、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所が育成した系統について、当地域における特性、適応性を調査している。その中で「クリ筑波36号」が有望と判定され「ぼろたん」として品種登録(平成19年10月22日)された。

そこで、これまでの系統適応性特性検定試験の結果から当地域における「ぼろたん」の特性を明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- 1 「ぼろたん」は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所において、果樹研究所育成系統「550-40」に、早生主要品種の「丹沢」を交雑して得られた実生から育成、選抜された品種である。
- 2 樹姿はやや直立で、樹勢は中、展葉期は「筑波」と同時期、雄花開花期は「丹沢」と同時期、雌花開花期は「国見」と同時期である(表1)。
- 3 収穫期は9月13日～24日で、「丹沢」より6日遅く、「国見」とほぼ同時期である(表1)。
- 4 結実開始後6年間の累積収量は18.4kg/樹で、「筑波」に比べ少ないが、「丹沢」、「国見」とは同等である(表2)。
- 5 1果平均重は、27.8gで「筑波」と同等、「国見」よりやや小さく、「丹沢」より大きい(表2、図1)。
- 6 病虫害被害果率は、炭そ病が9.5%と「丹沢」、「筑波」より高いが「国見」よりは低い。虫害果率は「丹沢」並である(表2)。
- 7 裂果率は、0.7%で低く、ふた子果率は8.3%で「丹沢」、「筑波」よりやや高い(表2)。
- 8 果実品質は、比重が1.059と高く、果肉色は黄色、肉質はやや粉質で、甘みがやや多く優れている(表2)。
- 9 加熱時の破裂を防ぐため、果実に包丁などで渋皮に達する程度の切り込みを入れ、電子レンジで加熱(700W、2分間、3～5個/回)すると、容易に渋皮を剥皮することができる(図2)。

【成果の活用面・留意点】

- 1 「国見」の代替品種、渋皮剥皮性という特性を生かした差別化品種として導入すると、有利販売が期待できる。なお、植栽にあたっては異品種が混入しないよう考慮する。
- 2 この特性は、中津川支所(中津川市)における若木での調査結果であり、成木期以降の特性は現在のところ明らかでない。また、病害果の発生がやや多い傾向があるので防除対策が必要である。このため、導入は農業改良普及センターなど指導機関に相談して行う。
- 3 当県主要品種(「丹沢」、「筑波」など)との交配親和性は問題ない。
- 4 電子レンジで加熱した場合、一度に処理する果実数が多い(5個以上)と渋皮の剥皮が悪いことがある。

【具体的データ】

表1 「ぼろたん」の樹姿、樹勢と生育期 (2002～2007年)

| 品種名 | 樹姿 | 樹勢 | 幹周 (cm) | 展葉期 | 開花期 | | 収穫期 | | |
|------|-----|----|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | | | | 雄花満開 | 雌花満開 | 始期 | 盛期 | 終期 |
| ぼろたん | ヤ直立 | 中 | 32.3 | 4月26日 | 6月15日 | 6月11日 | 9月13日 | 9月18日 | 9月24日 |
| 丹沢 | ヤ直立 | 中 | 36.1 | 4月27日 | 6月15日 | 6月9日 | 9月6日 | 9月12日 | 9月18日 |
| 国見 | ヤ開張 | 中 | 27.3 | 4月27日 | 6月17日 | 6月11日 | 9月12日 | 9月17日 | 9月23日 |
| 筑波 | ヤ開張 | 強 | 41.5 | 4月26日 | 6月16日 | 6月8日 | 9月23日 | 10月1日 | 10月10日 |

表2 「ぼろたん」の収量および果実品質 (2002～2007年)

| 品種名 | 累積収量(kg/樹) | | 1果 平均重 (g) | 病虫害被害果率(%) | | | 裂果率 (%) | ふた子 果率(%) | 比重 | 果肉色 | 肉質 | 甘み |
|------|------------|-----------|------------------|------------|-----|------|------------|--------------|-------|------|----|----|
| | 総収量 | 健全果 収量 | | 炭そ病 | メイガ | クリシギ | | | | | | |
| ぼろたん | 18.4 | 16.4 | 27.8 | 9.5 | 1.9 | 0.0 | 0.7 | 8.3 | 1.059 | 黄色 | ヤ粉 | ヤ多 |
| 丹沢 | 22.6 | 20.1 | 24.3 | 1.5 | 2.2 | 0.1 | 7.4 | 5.2 | 1.046 | 黄色 | ヤ粉 | ヤ多 |
| 国見 | 18.5 | 14.1 | 30.0 | 18.9 | 8.1 | 3.2 | 2.2 | 4.2 | 1.015 | ヤ淡黄色 | ヤ粘 | ヤ少 |
| 筑波 | 45.7 | 41.9 | 27.3 | 1.0 | 2.3 | 5.2 | 1.8 | 2.2 | 1.041 | 淡黄色 | ヤ粉 | ヤ多 |

注) メイガ: モモノゴマダラノメイガ、クリシギ: クリシギゾウムシ

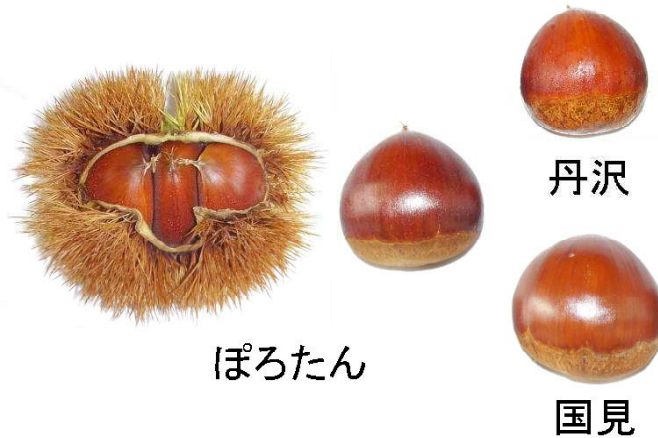


図1 「ぼろたん」の毬と果実

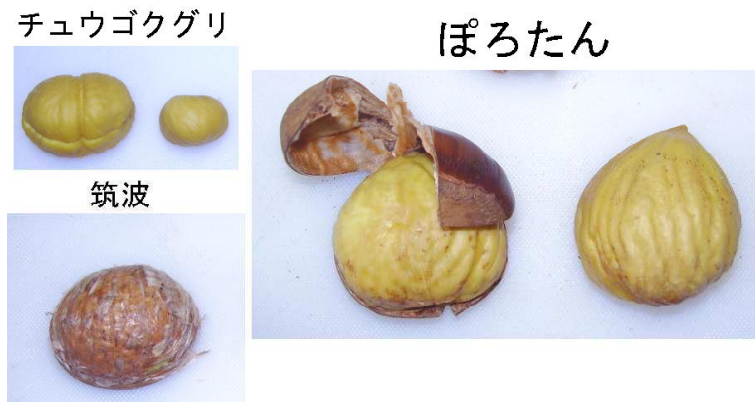


図2 電子レンジ(700w、2分)で加熱し剥皮した様子

研究担当者: 宮本善秋、神尾真司、成田久夫、滝孝文